

平成 30 年 11 月 29 日

報道機関 各位

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター

「社会インフラテック 2018」への出展のお知らせ

この度、東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターは、「社会インフラテック2018」にて、当センターの取り組みを紹介する展示を行います。

つきましては、ご多用中とは存じますが、当日は取材を賜り、紙面、番組等でご紹介頂けますようお願い申し上げます。

なお、ご取材にあたっては事前の申し込みは必要ございませんので直接会場へお越しください。

記

1. 日 時：平成 30年 12月 6日（木）10:00～17:00
12月 7日（金）10:00～17:00
12月 8日（土）10:00～17:00
2. 開催場所：東京ビッグサイト東1・2ホール
（東京都江東区有明3-11-1）
3. 出展ブース： S-13
4. 主な出展内容：
東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターの取り組み紹介
※概要は別紙資料を参照

【問い合わせ先】

東北大学大学院工学研究科
インフラ・マネジメント研究センター
担当 中野、三浦、高橋
電話 022-721-5503
E-mail: inquiry-imc@tohoku-imc.ac.jp



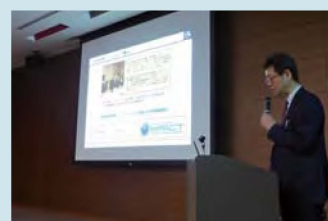
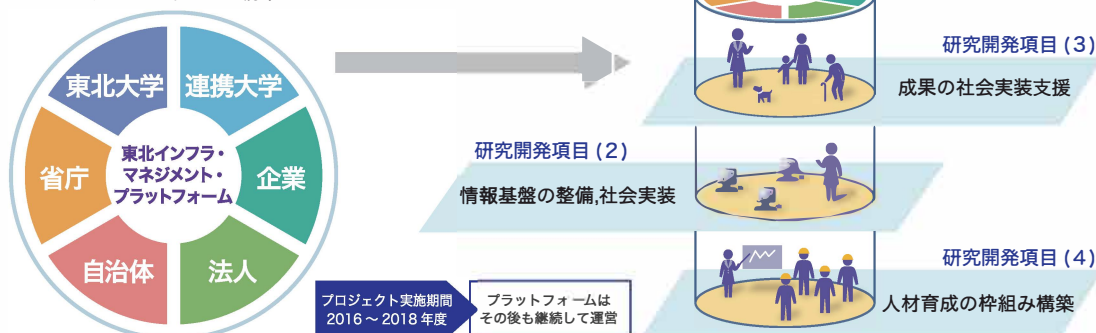
取組事例・成果

1 東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開

東北地方における産学官をネットワーク化し、研究開発された知識や技術を合わせて改良することで、社会実装につなげることを目的として構築しました。
各組織がもつ知識・ニーズ・場・人材が集結したワンストップでの利用が可能なゲートウェイです。

研究開発項目 (1)

東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築



平成29年5月18日
第1回プラットフォーム協議会を開催

2 情報基盤の整備、社会実装

産学官連携による橋梁メンテナンス統合データベースシステム
自治体支援データベースシステムの導入

橋梁点検データを一元管理！時短で経済的な点検に！
点検診断の高度化・効率化、補修計画・予算管理の適正化を実現

SIPにおいて研究開発された、東日本高速道路株式会社のデータベース (DB) システムを元に、自治体向けのDBシステムを構築し、導入支援を行いました。



自治体が抱える問題

膨大な管理ストック

- ・県と市町村はすでに1万件の点検データを蓄積
- ・今後も年間1,600件ずつ増加

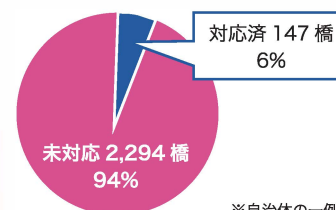
必要な情報を探して準備するのが大変！



市町村の対策の遅れ

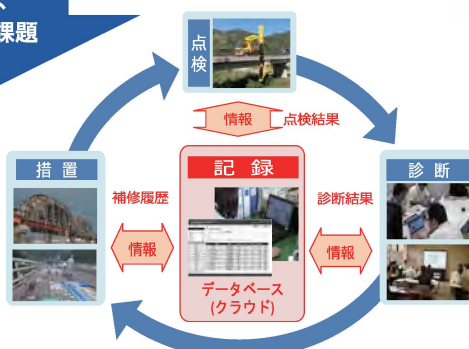
- ・老朽橋対策のカギは市町村

市町村管理橋梁
(要対策 2,411 橋)



市町村は予算、
人員、技術力に課題

橋梁のメンテナンスサイクル
(点検、診断、措置、記録)
の情報をデータベース化



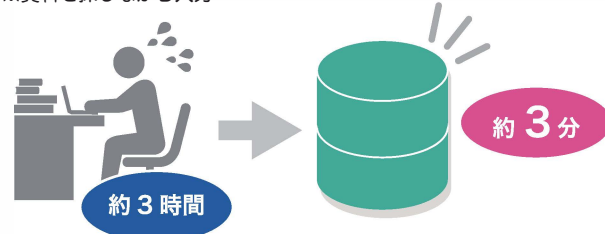
導入のメリット

1 橋分の橋梁診断書 (カルテ) 作成に要する時間

手作業

※資料を探しながら入力

統合データベースシステム



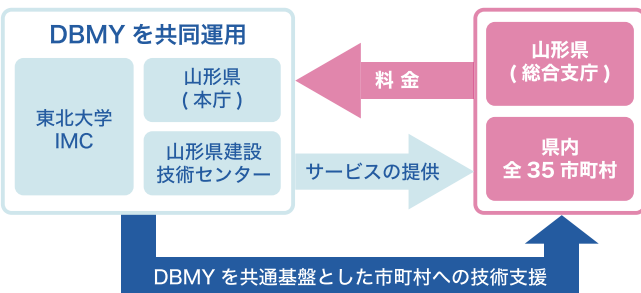
■活用実績・予定等

1

- ・平成 28 年度：山形県でサービス開始
- ・平成 29 年度：山形県内全 35 市町村が「山形県道路橋梁メンテナンス統合データベースシステム (DBMY)」を導入

2

- ・平成 29 年度：宮城県内 34 市町村に展開



3

- ・平成 30 年度：宮城県と仙台市に導入予定
- ・福井県 (平成 30 年度導入準備)

その他、導入を検討される自治体が増加中！

「自治体向けインフラ DB」を活用させていただき、山形県版にカスタマイズしている。これにより、県が保有していた様式等の大幅な変更もなく、高性能で使いやすいデータベースシステムを短期間、かつ経済的に開発することができた。



3 成果の社会実装支援

■仙台市での実証実験



平成 29 年 5 月 16 日 龍沢橋
カメラ搭載ドローンを活用した橋梁点検の実証実験を仙台市と実施しました。

■展示会による情報発信



平成 30 年 7 月 18 日～20 日 東京ビッグサイト
「メンテナンス・レジリエンス TOKYO2018」にて、インフラ維持管理に関する研究開発技術について出展し、情報発信を行いました。

4 人材育成の枠組み構築

■インフラの管理者・技術者の育成



平成 30 年 2 月 22 日～23 日 山形県総合研修センター
「山形県道路橋合同診断会議」にて、講演ならびに事例紹介を行いました。

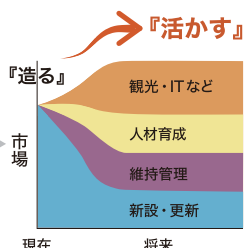


平成 30 年 9 月 12 日～14 日 東北自治総合研修センター
東北自治研修所で行っている「行政課題研修」にて講演を行いました。



未来への展望・今後の地域拠点としての活動見通し

■インフラを通じて新たな市場を創出し、インフラを土台に暮らしを豊かにします

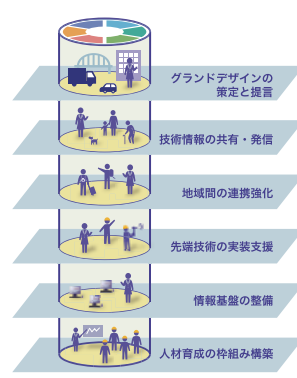


創未来インフラとして捉え直す

地域の活性化

インフラを通じて新たな市場を創出

■プラットフォームを活用し、東北エリアの主要機関との連携を強化します



お問合せ先

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター (担当：久田、鎌田、中野)
TEL：022-721-5504 E-mail：inquiry-imc@tohoku-imc.ac.jp HP：http://imc-tohoku.org/